2022年４月30日　臨時役員会議事メモ

日時：令和4年（2022年）4月30日（土）

場所：岡津町内会館

参加者：地区長・班長を除く事業部役員29名のうち、20名参加

1. 自己紹介
2. 会長挨拶
3. 総会の結果

結論：115票のうち、111票を回収。全てで可決。否はなし。

・事業部役員の役職を兼務していたり、班長を兼ねている場合の票の取り扱いが明らかでないことは修正すべき。

・岡津第二町内会の現規約には総会の議決に必要な条件が書かれていないため、来年度に向けて改訂すべき。

・回答に付された意見として、コロナ禍で活動を行なっていないのに会費が同じなのは疑問で収支をより明確にしてもらいたい、繰越金が非常に多いのは問題、無駄な支出はなるべくやめて欲しい、紙による回覧を減らすほうが良い、名前を知らなくても挨拶しあえる地域にするべき、ゴミ袋配布と旅行はやめたほうが良い、などを共有した。

1. 5/21（土）定例役員会

・班長（地区長は全地区で班長と被り）と事業部役員約70名が集まるので、三密を避けるために机なしで椅子だけで実施したらどうか。

結論：原則実施。ただし、コロナの状況で中止もありえる。

1. 赤十字募金の在り方

・過去二年はコロナ禍で戸別訪問が難しかったので、町内会費から出していた。

・これまではチラシを全世帯に、小冊子は班内回覧用に一部を配布して→班長が戸別訪問・集金して担当役員に渡し、地区の赤十字窓口に振込していた。任意の寄付とは言え、個別訪問されれば強制感が伴い出さざるを得なくなる。今後は、町内会は全世帯に対して赤十字募金の周知はするが（チラシと小冊子を全世帯に配布）、町内会は集金せず、募金に応じたい人が個々人で郵便局や銀行、ネットなどから振込をするということではどうかとの提案があった。

・個人から地区への直接寄付にすると岡津第二町内会としての実績がなくなり、中川連合町内会の中での岡津第二町内会としての協力実績が低いと立場がない。

・過去においては、個別訪問ではなく、先に世帯の意思を聞いて寄付したいと申し出た世帯に班長が集金に回るというやり方をしていたこともあるので、その方式ではどうか。

結論：中川連合町内会での取り決めもあるので、今回突然やり方を変えるということはせず、今回は改めてこれは任意の寄付であることを強調して周知し、班長に集金してもらうこととする。（個別訪問するかどうか方法は班長に委ねる）

1. 各部の活動予定について

＜広報部＞広報資材を530部会員に配布するなど大変なので、新規の勧誘や事務処理などは他の部にも協力をお願いしたい。

　　・広報部の活動を支援してくれる新たな人材確保が急務である。

＜防犯部＞防犯パトロール保険は今までは総務部でやっていたが、これからは防犯部が加入等行う。

　　　　　　　　今年度は防犯パトロールを実施予定であるが、それに参加してくれる人が年々減少している。

なるべく若手の新たな人材確保が急務である。

　　　　　　防犯の旗を区役所に発注済み

＜防災部＞防災倉庫のチェック、防災訓練の実施、安否確認カードの配布（未加入世帯にも全戸配布）

＜環境衛生部＞＜福利厚生部＞＜保健衛生部＞＜スポーツ推進委員＞＜女性部＞＜白寿会＞

　　　　　例年通り

＜青少年部＞例年通り　新一年生１８名にお祝いの準備中

＜交通部＞例年通り　6/18岡津小学校で交通安全指導予定

結論：コロナ禍が続いてはいるが、感染防止策をとって、今年度は全体的になるべく行事等やっていく方

向にしたい。

1. 夏祭り

・過去二年はコロナで中止（その前も台風で中止）

・今年度は中止か他に何かをやるかどうか。やるとしても飲食は無理。

・子供が楽しみにしているので子供主体にしたい。

・夏祭りは連合との兼ね合いもあるので他が実施したら第二もやらないわけにはいかない。

・学校の指導との兼ね合いもあるのでは。（大勢のいるところや祭り等は参加しないなど）

結論：５月最終土曜日の中川連合町内会の定例会での動向や学校の指導方針を確認した上で決定する。

1. 町内会費について

・会費が高い、繰越金が多いなどなどの意見もあり、来年度の会費の減額を検討してはどうかとの提案があった。

・今年度会費を半額にしている町内会もある。

・昨年は会費の減額の代わりにクオカード配布で還元している。

・減額したら次回は増額しにくい。

・会費を減らして繰越金を減らしたら、連合からの会館維持費等の請求があったときに困る。

結論：町内会加入・未加入の世帯含め全世帯に意識調査を行い、その結果も見て今後継続して検討する。会

費のあり方や使途、収支報告に関しては今以上の透明性を保つ必要がある。

1. その他

＊規約について

　 ・定足数や総会議決の条件など書かれていない項目があり、横浜市の推奨するひな型の内容とは少し相違

がある。

　 ・事業部名が現在のものと異なっていたり、女性部の部分など変わっているものもある。

結論：来年4月の総会に向けて規約の改正を考えることとする。ホームページに現規約をアップするので、

各役員にあっては気づいたことをメール等で総務に知らせていただきたい。

　　＊町内会の旅行について

　　　・役員以外はほぼ参加していない。

　　　・予算はたててある。

結論：今年度はコロナ禍の終息がまだ見えないので中止とする。

　　＊総務より

　　　・町内会は全国でも高齢化と後継者不足が問題になっている。

　　　・夏祭りなどは役員からの提供型ではなく、住民参加型にしていくことがこれからは大切ではないか。役

員側としてもやらされ感が強いと負担をより重く感じてしまうであろう。

　　 ・以前、加入世帯の方からメールでの意見でゴミ袋の全戸配布は必要ないのではないかというものがあっ

た。本来各戸がその家庭の必要に応じて購入すべきゴミ袋を町内会費から支出して全戸に配布するのは

いかがなものか。その配布においても役員・班長に大きな負担がかかっている。元々ゴミ袋配布活動はアルミ缶などの資源ゴミによる収入を主に充てており、町内会費は使用していなかった。が、最近ではかなりの額を町内会費から支出しているのが現状である。資源ゴミ集めによる収入の中でゴミ袋なのか紙紐配布に変えるかなどの検討をしていく。

　　＊女性部部長より

　　　・夏祭りは地域との触れ合いができるので小さくてもよいので実施したほうが良いと思う。

　　＊防犯部長より

　　　・現在パトロールは高齢者が多いので若手にも参加してほしい。役員以外にも声掛けはしているが

　　　　なかなか集まらない。参加しやすいように曜日を木曜から金曜に変更したが変わらない。

・集合時間が早いと現役は参加が難しい。

・参加の方法がわからなかったりするので、交流を作って参加を促す。

・班長のように持ち回りにしたらどうか。

・防犯パトロール認知のため広報していく必要がある。